

手順①
敷設面ごとのリード線（白・黒それぞれ）をまとめます。



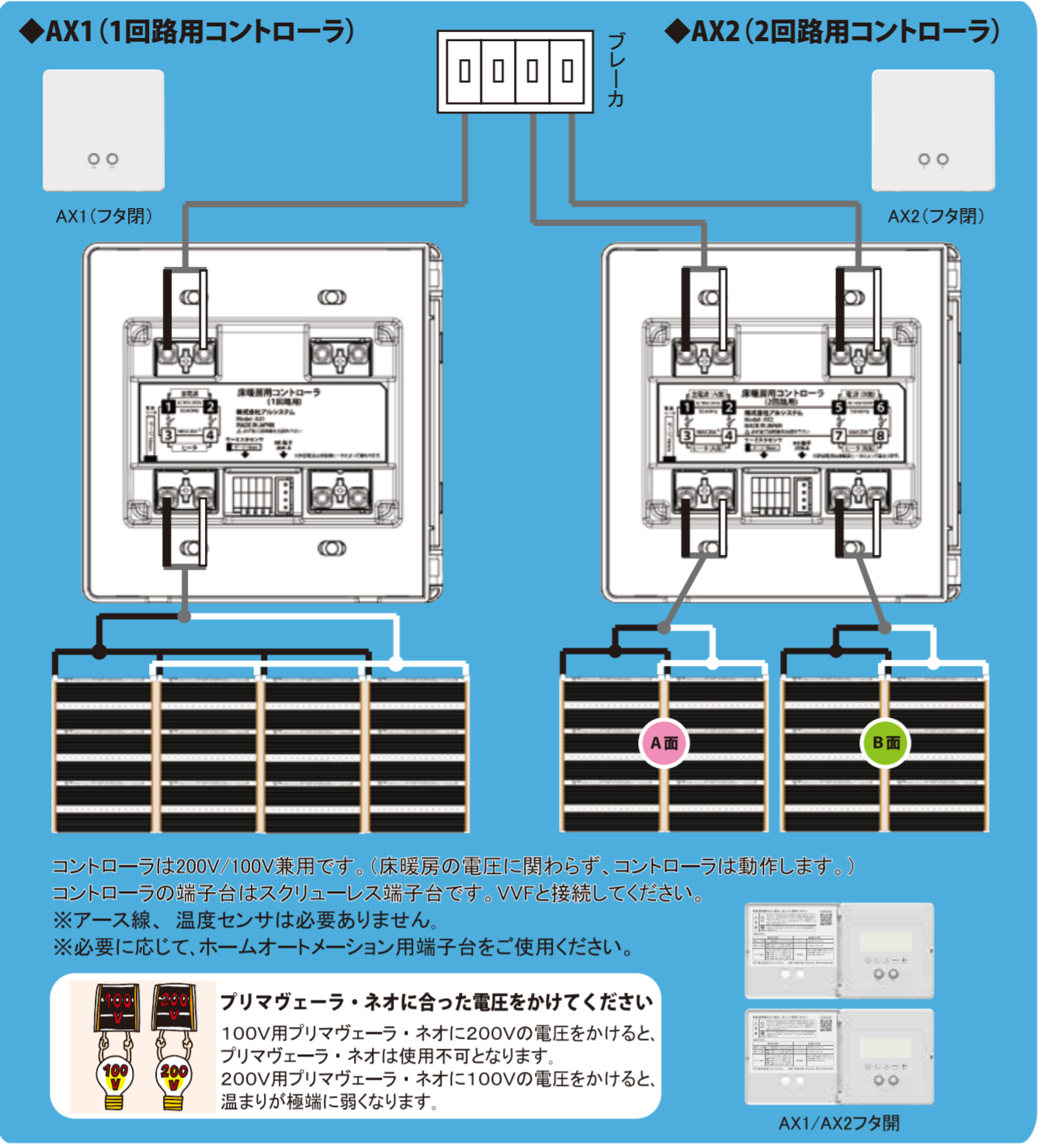
手順②
VVF 1.6mm と、①でまとめたリード線（白・黒それぞれ）をリングスリーブを用いて圧着結線します。



手順③
圧着結線した部分を絶縁テープで絶縁防湿処理します。



手順④
コントローラ取付け予定位置で仮止めします。電源側（一次側）も同様です。コントローラへの接続は右上図を参考にしてください。



◆床暖房検査表の記入方法

仕上げ材の施工と電気配線の完了後、検査を行い、数値を床暖房検査表に記入し、当社までFAX送信してください。

①現場合成抵抗値(Ω)の測定
…2次側配線の線間で測定

②絶縁抵抗値(MΩ)の測定
…2次側配線の片側と対地(アース)間で測定

③昇温検査

重要 床暖房検査表 FAX: 03-6880-4318

設置場所	電圧	電線	現場合成抵抗値(Ω)	現場絶縁抵抗値(MΩ)	昇温検査
1					
2					
3					

※現場合成抵抗値は、500V計測、50MΩ～∞

※昇温検査は、シート上の温度計で測定してください。

製造・販売元
株式会社アルシステム
https://www.irsystem.co.jp
E-mail: sales@irsystem.co.jp

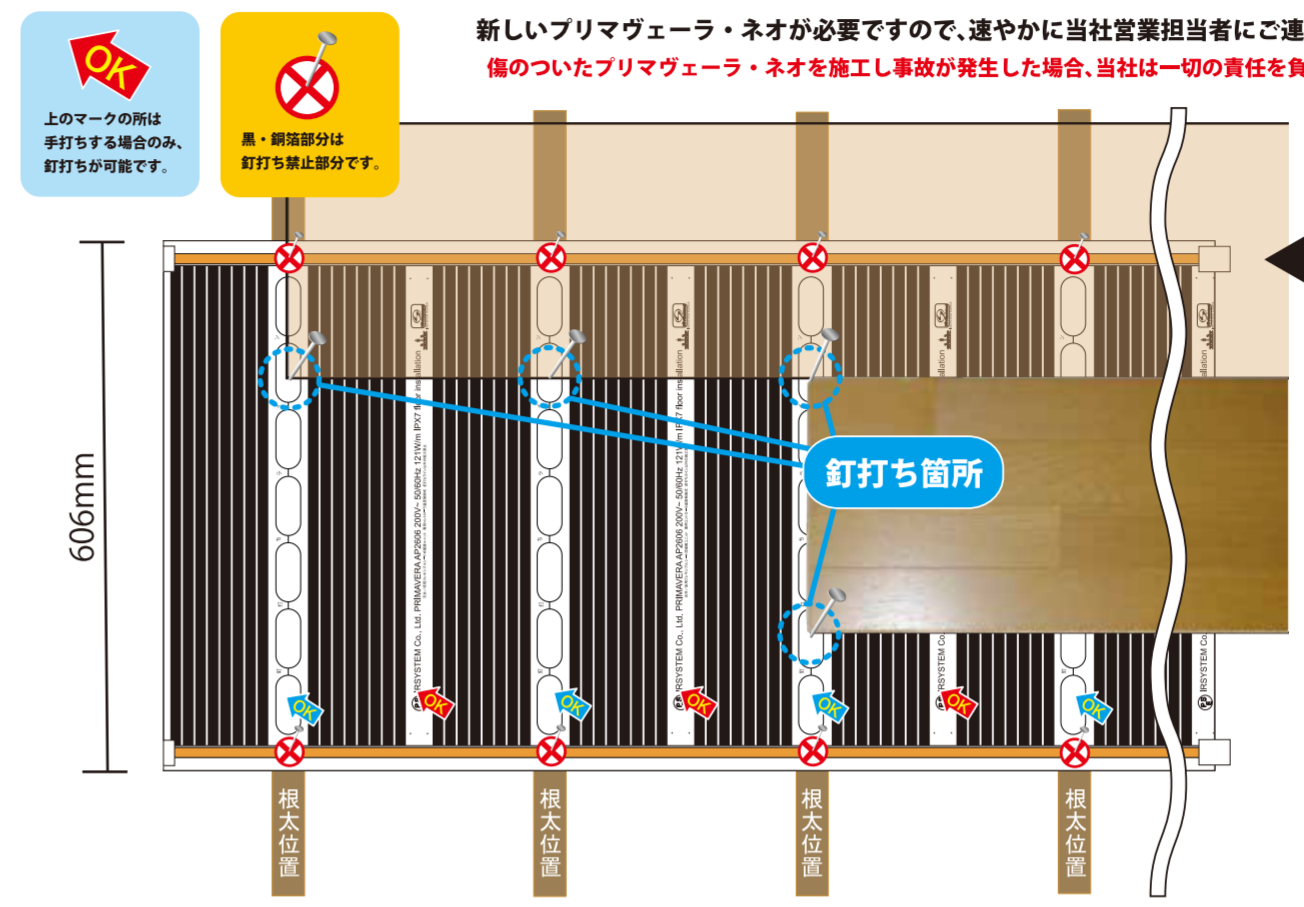
大阪本社: 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-2-10 PMO EX 新大阪210号
TEL: 06-7712-4335 FAX: 06-7657-9778
東京支店: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア5F 525号室
TEL: 03-6772-8550 FAX: 03-6880-4318

電気式エコ床暖房 プリマヴェーラ・ネオ PRIMAVERA NEO 施工要領

本製品を正しく安全に施工していただくために、本書の注意事項・施工方法をよくご理解いただいたから施工してください。万が一、本書と異なる施工を行い事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

基本情報と注意点

◆釘打ち可能な場所について **プリマヴェーラ・ネオの透明部分以外は釘打ちできません。** ◆その他注意点等
傷のついたプリマヴェーラ・ネオは“使用不可”となります
新しいプリマヴェーラ・ネオが必要ですので、速やかに当社営業担当者にご連絡ください。
傷のついたプリマヴェーラ・ネオを施工し事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。



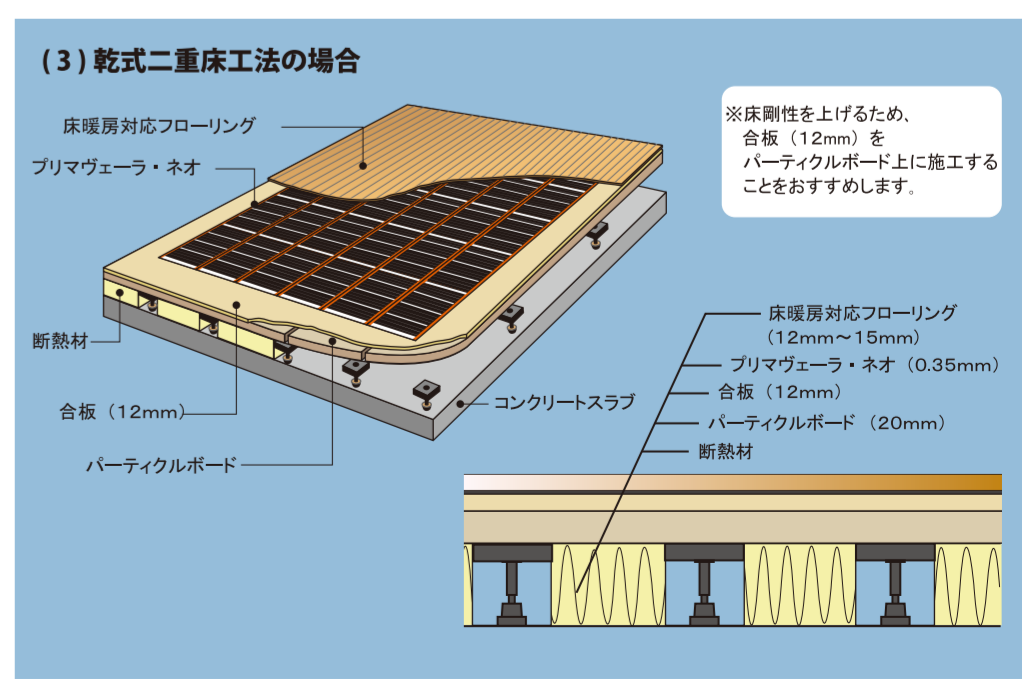
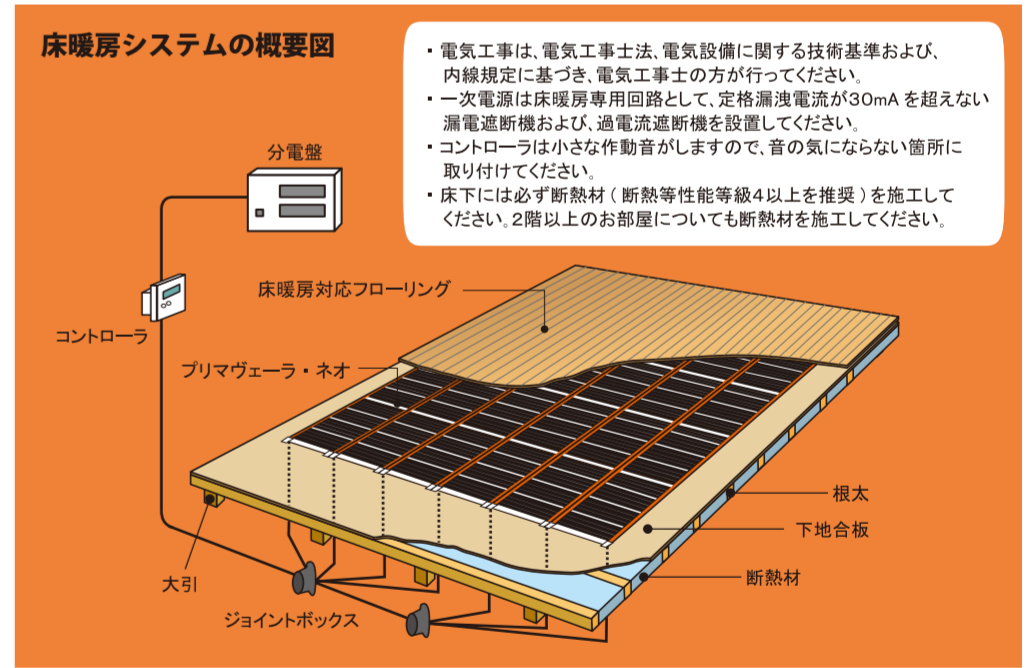
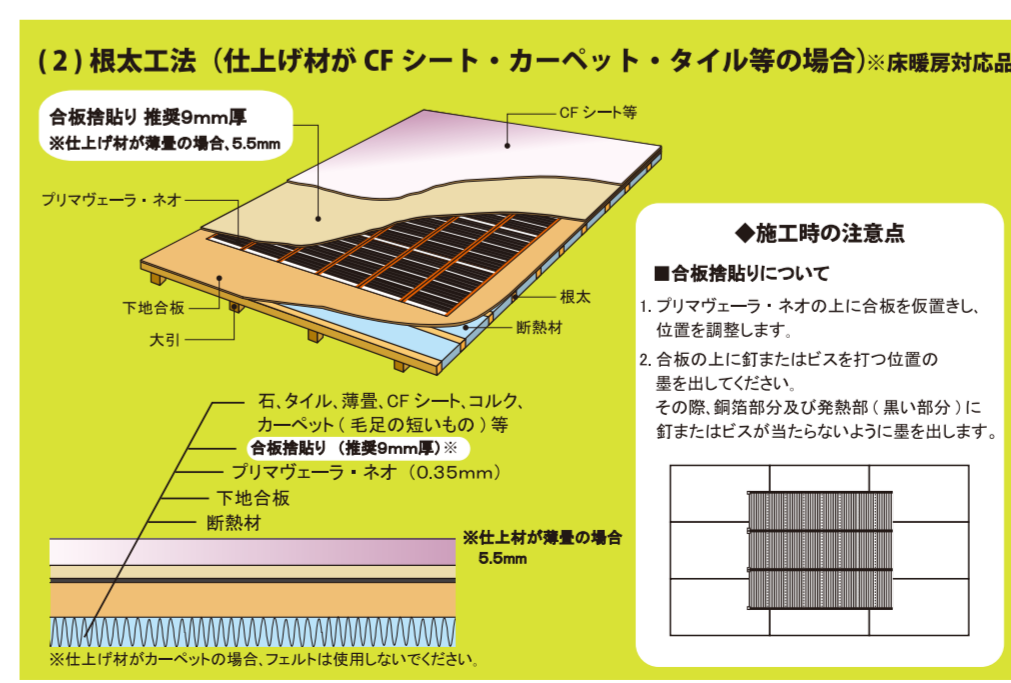
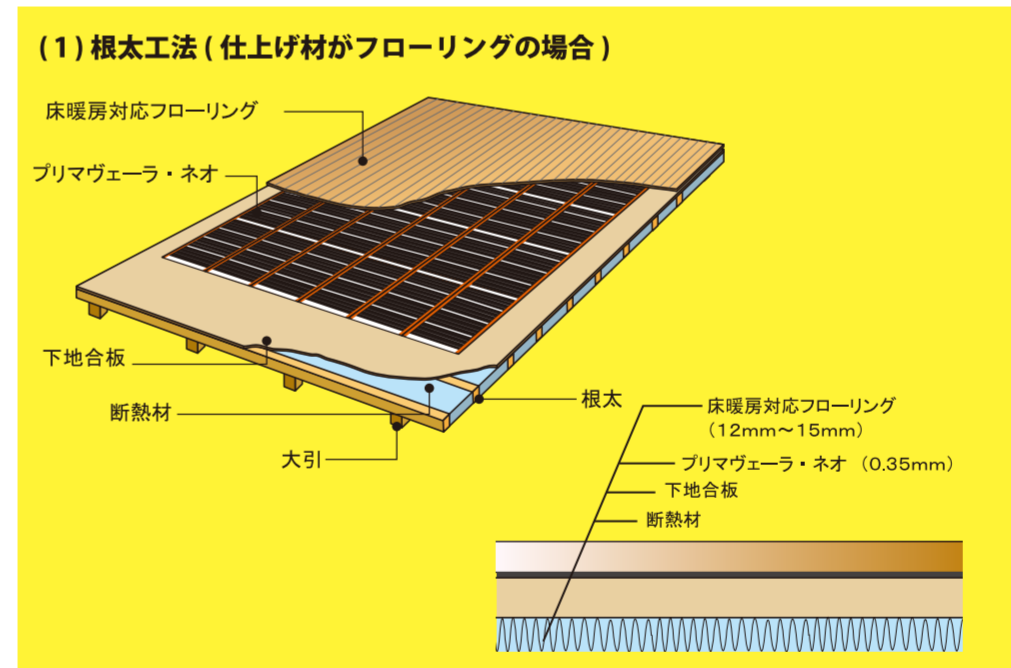
- ①303mmピッチにある釘打ちラインに釘打ちしてください。
- ②フロアネールを使用し、手打ちされることをおすすめします。
- ③フィニッシュネイルでの施工は、床鳴りが発生する可能性があるため、おやめください。
- ④ステーブル等の施工もできますが、釘が跳ね返る恐れがありますので、手打ちをおすすめします。

◆フローリング（幅1尺×長さ6尺）の施工について

《フローリングの長手方向》→銅箔部分を必ずまたいでください。
銅箔部分はプリマヴェーラ・ネオの両端にあり、どちらも必ずまたぐように施工してください。

《フローリングの短手方向》→短辺部のジョイントを釘打ちラインに合わせてください。
プリマヴェーラ・ネオには303mmピッチで釘打ちラインがあります。

床暖房システムの概要図・床構造別断面図



① 施工の前に

◆施工に関する注意事項

施工前にフローリング方向、貼り始めの位置、配線方法、コントローラ位置等を必ず確認してください。



出荷明細書と商品の確認をしてください

商品到着後（納品日）、1週間以内に出荷明細書と商品をご確認ください。
※期限が過ぎている場合、対応をしかねる場合があります。



昇温試験は接着剤乾燥後に行ってください
（目安：夏期は2～3日、冬期は5日以上）

※釘打ちや誤配線の確認のため、現場合成抵抗値、絶縁抵抗値の測定は施工後すぐに行ってください。

接着剤が固まる前に電気を通して熱を加えたり、接着剤を塗りすぎたりすると、しっかり接着せず、床鳴り他問題が発生する可能性があります。

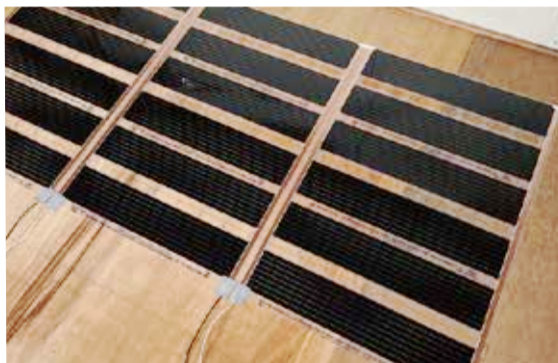


当社営業担当者が施工説明に伺います

初めて当社製品を施工される施工店様・電気工事店様に向けて施工方法を説明いたします。
なお、日程調整についてはお早目にご連絡ください。

手順①

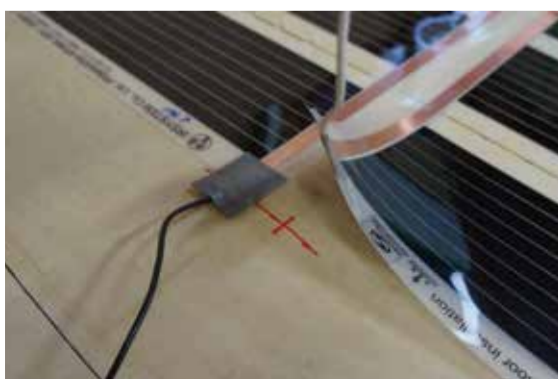
プリマヴェーラ・ネオ 敷設位置の確認



プリマヴェーラ・ネオを仮置きし、敷設部分の墨を出します。

手順②

ターミナル位置の確認



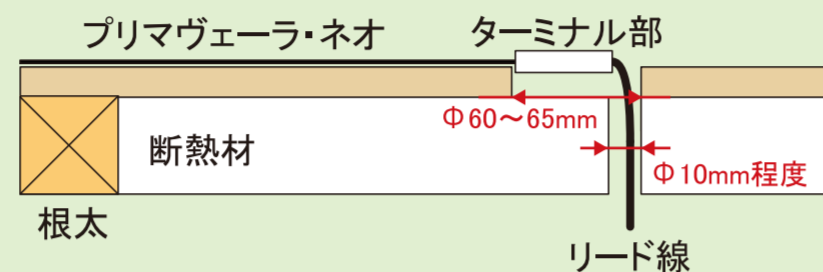
プリマヴェーラ・ネオのターミナル位置の地下合板に、印をつけます。
配線方法は3通りありますので、現場の環境に合わせて選択してください。

② 配線のための下地加工（3通りの方法があります）

◆方法①<ホールソーを使った床下配線>



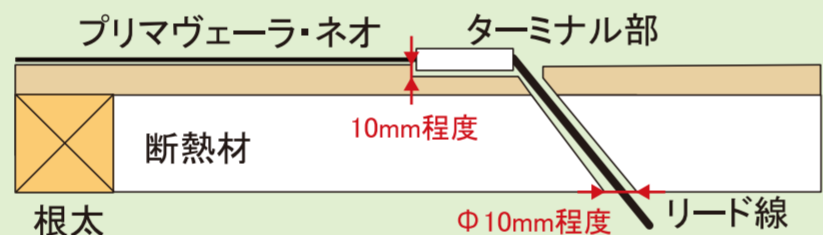
<参考：断面図>



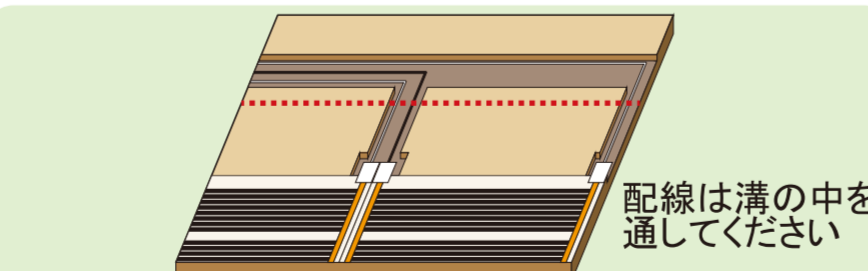
◆方法②<座彫りし床下配線>



<参考：断面図>



◆方法③<溝掘配線>

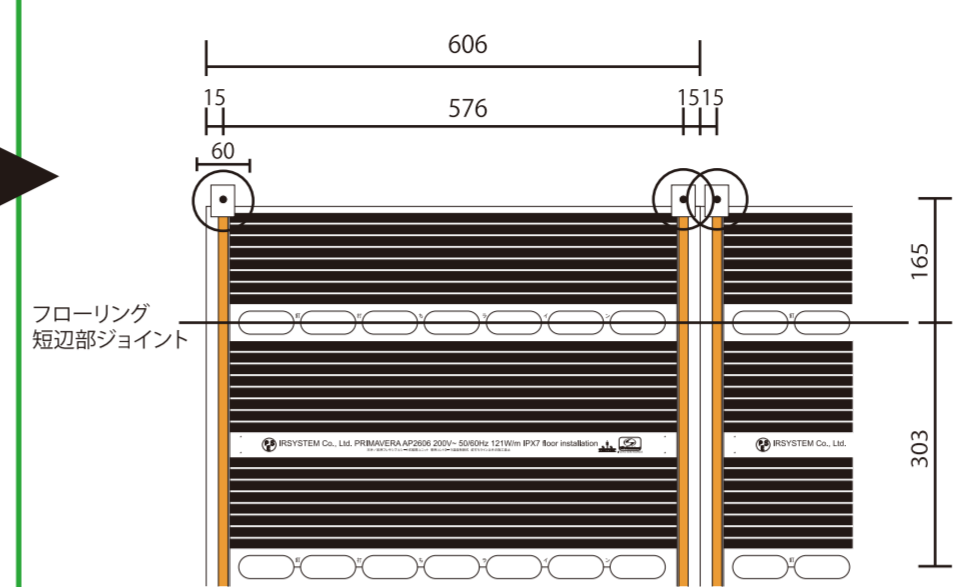


※配線の本数により、溝の幅は異なります（15mm～50mm程度）

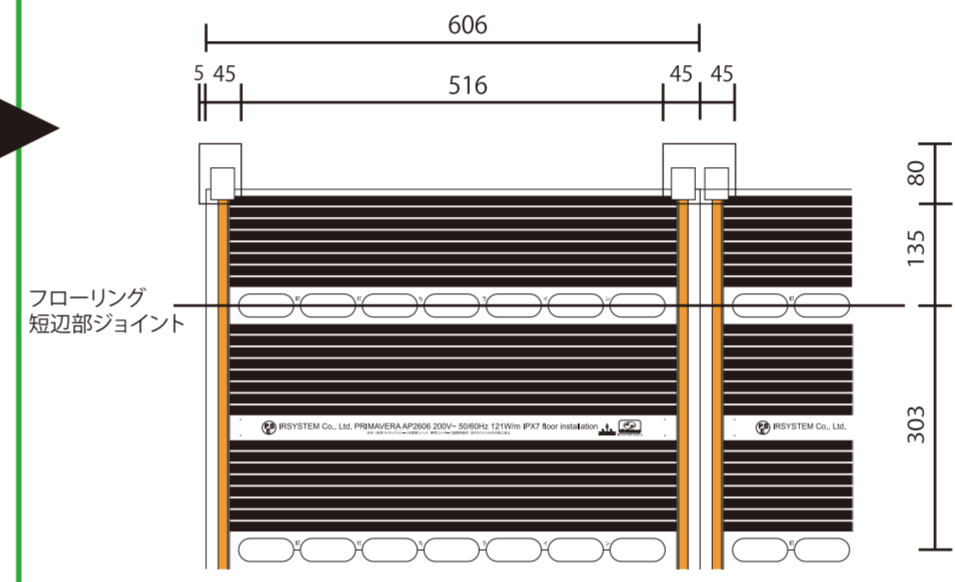
下地加工後は 清掃をお願いします

施工する部分にゴミが入ってしまった場合、床鳴り、破損による漏電の恐れがあります。

◆丸穴位置

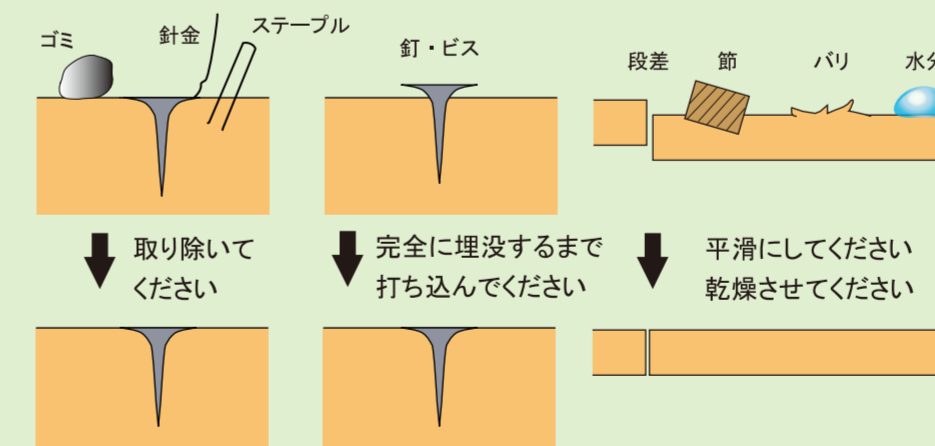


◆座彫り位置



⚠️ プリマヴェーラ・ネオ敷設前の注意

プリマヴェーラ・ネオを敷設する前に、ゴミ・木クズ・連結釘の針金・ステーブル等の無いよう、丁寧に掃除してください。
釘・ビス等の頭は埋没するまで打ち込んでください。
合板のバリや節などの突起物、段差等の無いよう平滑にしてください。
下地合板が濡れている場合は、よく乾燥させてください。



配線

※床上配線は方法が異なります。

プリマヴェーラ・ネオのリード線を床下に落とします。

手順① プリマヴェーラ・ネオの敷設



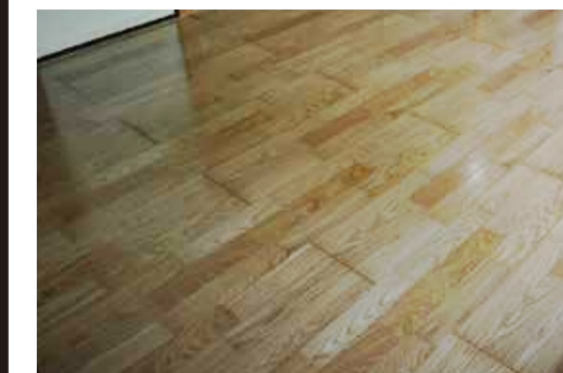
仕上げ材の釘打ち部とプリマヴェーラ・ネオの釘打ちラインが合うように、重ねず隣同士は突き付けて敷設してください。
なお、固定には養生テープを用い、釘打ちライン上の銅箔部を隠すように貼り付けてください。

手順② 仕上げ材の施工



仕上げ材の施工要領に沿って施工してください。
プリマヴェーラ・ネオ敷設部分への接着剤塗布は釘打ちラインの穴に沿って行いますが、接着剤は銅箔部分に付着しないようにしてください。
接着剤は、コニシ社製 KU928C-X 同等品をご使用ください。

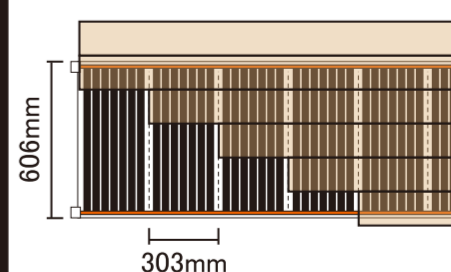
施工完了



仕上げ材の施工が完了すると、電気配線作業に移ります。
電気配線は必ず電気工事士の有資格者が行うようにしてください。

◆仕上げ材が幅の狭いフローリングの場合

幅1尺のフローリングと同様に、銅箔部分を必ずまたくように施工してください。



シート同士を少し離す時

※温度ムラを避けるため、シート間の隙間はできる限り少なくしてください。（最大で10mm）

シートの透明部分を重ねる時

※シートの銅箔部分及び発熱部を重ねての施工はできません。

どのようにしても銅箔部分とフローリングの継ぎ手が重なったり接近する場合
①プリマヴェーラ・ネオの透明部分を重ねる
②プリマヴェーラ・ネオ同士を離す（最大で10mm以内）

※割り付けを合わせるために、余っている棒を物差し代わりにする方法や、予めプリマヴェーラ・ネオを固定するのではなく、フローリングを施工しながら、1枚1枚ずらして固定する方法があります。

※輸入材、無垢材での施工をご希望される際には、当社営業担当者にご相談ください。